

社会文化創造研究科

【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

社会文化創造研究科は、人文社会科学及び芸術・スポーツ科学の各分野において、高度な専門的知識や技能を涵養するとともに、各分野において地域社会の健全な発展向上に寄与することができる高度専門職業人を養成します。そして、専門的知識や技能を育成するため、世界的な視野から地域における諸課題に積極的に取り組み、分析し、その課題を解決できる能力を持った人材を育成します。そのため、多様な視点や広い視野を獲得して課題解決に積極的に応えていく意欲のある人を、国内外から広く受け入れます。

◆求める学生像

- ・人文社会科学と芸術・スポーツ科学の各分野における高度な専門的知識と技能を身に付け、実践的な能力を高めたいという意欲と能力を持つ人
- ・今日の国際社会や地域社会の抱える諸課題に対し、積極的に取り組み解決しようとする意欲と能力を有している人

各コースの入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)、入試区分及び選抜方法は以下に示したとおりです。

社会文化システムコース

社会科学及び人文科学に分類される学問領域の垣根を低くし、相互の融合を図りながら、人間の活動を「社会」と「文化」の関係から広く捉える視座に立ち、世界的視野から国家や地域の理解・発展に寄与できる地域創生人材を養成することを目標とし、外国人留学生を積極的に受け入れ、学部卒の進学生、外国人留学生、国内外の社会人等、多様な背景を持った学生どうしの協働や切磋琢磨を通じて課題解決力を高めていく教育の場を整備しています。また、社会文化システムコースの求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 社会科学や人文科学に関する基礎的な学力を有し、社会や文化の現象を探究したいと考えている人
- 人間の活動から生まれる諸問題に強い関心を示し、それらを解決しようとする意欲がある人
- 専門的知識や技術を活用し応用することによって、グローバル・ローカル双方の視点をもって国際社会や地域社会に貢献しようとしている人

◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から、コースの入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿った入学試験を、次の①～⑤の入試区分及び選抜方法により実施します。

① 一般入試

四年制の大学を卒業していること、又は卒業見込みであること等を出願資格とし、専門科目・面接・出願書類を総合して選抜する。

② 社会人入試

大学院入学資格を有し、出願時において四年制の大学を卒業後 3 年以上経過している

こと等を出願資格とし、口述試験・出願書類を総合して選抜する。

③ 外国人留学生入試

大学院入学資格を有し、日本国籍を持たないこと等を出願資格とし、口述試験・日本語・出願書類を総合して選抜する。

④ 推薦入試

大学の4年次に在学し、指導教員からの推薦書を提出できること等を出願資格とし、面接・出願書類を総合して選抜する。

⑤ 協定校（外国人留学生）推薦入試

日本国籍を持たず本学並びに本学人文社会科学部と交流協定を締結している大学を卒業又は卒業見込みであること等を出願資格とし、書類審査により選抜する。

臨床心理学コース

臨床心理学コースは、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働等の領域において、適切かつ確実な心理支援のできる高度専門家（臨床心理士、公認心理師等）として従事するために必要な資質・能力を養成します。

また、臨床心理学コースの求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 心理職を強く志向し、心理支援の実践力を身に付けたいという意欲を持つ人
- 心理職に求められるコミュニケーション能力を持つ人
- 臨床心理学に関する専門的な知識と技術を身につけたいという意欲を持ち、かつ、努力し続けることができる人
- 専門性を活かしながら社会的な役割を担うことを目指し、その実現のために努力することができる人

◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から、コースの入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学試験を、次の①～④の入試区分及び選抜方法により実施します。

① 一般入試

四年制大学を卒業していること、または卒業見込であることを出願資格とし、筆記試験と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

② 社会人入試

大学院入学資格を有し、入学予定時に3年以上の職業経験を有することを出願資格とし、筆記試験と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

③ 外国人留学生入試

大学院入学資格を有し、日本国籍を持たないことを出願資格とし、筆記試験と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

④ 推薦入試

出身大学（本学を含む）の指導教員の推薦を受け、合格した場合には入学を確約できる者であること等を出願資格とし、面接、出願書類によって合否判定を行う。

芸術・スポーツ科学コース

芸術・スポーツ科学コースでは、音楽芸術、造形芸術、スポーツ科学それぞれの領域において、文化の活性化に寄与することができる高度専門的職業人を養成します。

音楽芸術では、学部で修得した音楽芸術に関する基礎知識や技能等を基に、個々に応じた授業を通し、更に高度で専門的な技能や指導力の涵養を図り、専門分野で地域における指導的な役割を担う人材を育成します。また、オペラ、室内楽、オーケストラを教育の中心に据え、演奏会等の企画・運営・実践を通して音楽事業のコーディネート能力とマネジメント能力を涵養し、地域や社会の芸術文化の発展・振興に貢献できる人材を養成します。

造形芸術では、学部で修得した造形芸術に関する基礎知識や技能等を基に、絵画、彫刻、芸術学等の各専門領域において更に高度な専門的技能と指導力を備えた人材を養成します。また、文化政策やアートマネジメントに関する実践的な能力を涵養し、公的な文化施設・団体をはじめ一般企業などの文化事業において、企画・運営・実践・指導を通して地域や社会の芸術文化の発展・振興に貢献できる人材を養成します。

スポーツ科学では、各種スポーツの技術や先端理論等を修得し、競技力向上の指導者を目指す人材を養成します。また、スポーツ活動を企画する能力を涵養すると同時に、地域社会や行政、並びに各種スポーツ団体等と有機的に連携し協働できる能力を涵養し、生涯スポーツ社会の構築を積極的に推進することのできる人材を養成します。

また、芸術・スポーツ科学コースの求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 大学の学部で音楽芸術・造形芸術・スポーツ科学の基礎的知識を修め、音楽芸術や造形芸術及びスポーツ科学の各プログラムに広い視野を持ち、高度な専門的知識や技術の修得を目指す意欲と能力を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から、コースの入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学試験を、次の①～③の入試区分及び選抜方法により実施します。

① 一般入試

四年制大学を卒業していること、または卒業見込であることを出願資格とし、筆記試験（音楽芸術のみ実技試験）と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

② 社会人入試

大学院入学資格を有し、入学予定時に3年以上の職業経験を有することを出願資格とし、筆記試験（音楽芸術のみ実技試験）と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

③ 外国人留学生入試

大学院入学資格を有し、日本国籍を持たないことを出願資格とし、筆記試験（音楽芸術のみ実技試験）と面接及び出願書類によって合否判定を行う。